

迎春



「人と自然と歴史が

ともに輝く共生のまち

月形」を目指して

月形町長 上坂 隆一

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

新しい年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げますとともに、日ごろより町政の運営に対し特段のご理解とご支援を賜り、深く感謝を申し上げます。

昨年は5月に皇太子殿下が新しい天皇陛下にご即位され、元号が新たに「令和」に変わりました。令和になったものの、8月の九州北部豪雨、9月には台風15号、10月には台風19号による影響で九州地方や関東地方において甚大な災害に見舞われ、多くの死傷者が出てしまう災害の多い年となってしまいました。被災された方に対しましてお悔やみとお見舞いを申し上げます。

一方、スポーツにおいては月形町の応援大使でありましたメジャーリーグエンゼルスの大谷翔平選手が右ひじの手術を乗り越え見事に復帰し、18ホームラン、110安打と喜ばしい活躍をしました。さらに、ラグビーワールドカップが日本で開催され、日本代表がベスト8と健闘し、国民に勇気と感動を与えてくれた明るい話

題として私たちの記憶に新しいところです。

本町におきましては、樺戸集治監が平成30年の11月に北海道遺産に選定され、さらに昨年の5月には、日本遺産構成文化財の一部として認定されました。テレビやラジオなどのメディアでも取り上げられるなどの影響で多くの方々にも月形町へ足を運んでいただき、大変喜ばしく思います。今後さらに多くの方々に本町の歴史を知っていただけるよう取り組んでまいります。また、8月には交通死亡事故数ゼロ1500日を達成し、今後も悲しい事故が起きることがないように、関係機関と連携しながら交通安全に努めます。さらに、ふるさと納税の寄附金額が1億円を大きく越えるなど、本町に対して全国から多くの方に応援いただき、深く感謝を申し上げます。

私ごととなりますが、平成28年10月に町民の皆さまに信託をいただき、町政の舵取りをさせていただきましたが、早いもので、本年が任期最後の年となります。この間、町民の皆さまに温かいお言葉と励ましをいただき、また、町議会や関係団体の方々のご指導に改めて感謝を申

し上げます。

これまでを振り返りますと、町長に就任してJR札沼線の維持・存続について取り組みましたが、廃止という苦渋の決断をしました。現在は、JRに代わるバスの運行に向け全力で取り組んでいるところですが、拠点施設整備や皆楽公園の再整備、さらには町立病院の運営と課題が山積している状況です。

次年度の大きな事業として農産物のより良い品質での提供と集出荷の効率化を図るため、穀類乾燥調製貯蔵施設（こめ工房）の改修や青果物集出荷施設の新設による集約化を予定しております。

また、本年は町政施行140年目を迎える記念すべき年にあたり、これまで本町を築き上げられました先人や諸先輩方のご苦勞と、そのご功績に心から感謝申し上げます。

さらに、第4次総合振興計画の後期計画および第2期創生総合戦略を策定し、「人と自然と歴史がともに輝く共生のまち月形」を目指して、子育て支援や農業振興、公共交通網の確立に取り組んでまいります。

町長に就任してから、まだ種をまいただけです。芽を出し花が咲くまで、誰もが安心して暮らせる「共生のまちづくり」の実現に向けて職員をはじめ、町民の皆さまとともに取り組む所存であります。

本年が町民の皆さまにとって幸多き一年でありますことを心からご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

副町長

堀 光一

教育長

古谷 秀樹

迎春



町民の皆さまに

信頼される議会を

目指して

月形町議会議長

金子 廣司

新年明けましておめでとうございます。元号が令和に変わって初めての輝かしい新春を迎え、月形町議会を代表いたしました。心からお慶びを申し上げます。

月形町議会は、昨年5月に議員の改選により、議員数も2名減り、8名の新たな体制で運営しており、町民の皆さまには、常日頃から議会活動に対し、ご理解ご協力をいただき、さらに温かいご支援を賜っていることに対し、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、天皇陛下が5月に在位30年でご退位し、皇太子殿下が新たな天皇陛下にご即位され、新たな元号「令和」が誕生したのは、記憶に新しいところです。

10月には、台風15号による暴風雨の被害が癒えぬ間に、続けて台風19号が首都圏および北関東方面を直撃し、東北・中部地方を含む広範囲にわたる未曾有の集中豪雨により、多くの尊い犠牲者を出しました。さらに8万棟を越す住宅に被害をもたらしており、いまだ多くの方が避難生活を余儀なくされていることから、早期に元の生活を取り戻すことができますよう、お祈り申し上げます。

本町の農業においては、一年を通して天候は良かったものの少雨となり、米・麦は概ね平年並みとなりましたが、その他の作物については、あまり芳しくない状況となりました。全体としては平年を若干下回る状況となりました。全国的に災害などが多かった「平成」の時代が終わり、「令和」の時代には、災害の少ない、穏やかな時代が訪れ、農業においても実り多き秋を迎えることができることを願うものであります。

今年、7月下旬から9月上旬にかけ、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。日本人の活躍を期待しつつ、スポーツによって大きな感動を与えてくれるものと思います。また、月形町では、7月には「開町140年」を迎えることから、節目の年として関連行事が予定されており、歴史の重みを感じるところであります。

昨今の我が国をめぐる情勢では、目まぐるしく変わる経済情勢において、国際的に巨大な経済圏での自由貿易協定など、北海道農業に少なからず影響を与え、地域経済にも多大な影響を及ぼすことが危惧されています。

このような状況の中、本町議会におきまして

は、改選後から議員8名で議会活動を行っているところであり、平素の活動のほかにも、今後町民の皆さまとの懇談会を開催するなど、より多くの方の声を聴き、町民の声を議会としても町政への疑問や意見などを届けることが大切だと痛感しており、また、議会だよりの発行などにより、今以上に町民の皆さまに議会活動を知っていただき、町民の皆さまに信頼される議会を目指してまいります。

今年、町長選挙が行われる年になりますが、現在、課題とされているJR札沼線の廃線後における代替バスの運行や地域公共交通整備、バスターミナルを中心とした拠点施設整備、皆楽公園周辺施設再整備など、重要課題が多く残されております。町民の意見を真摯に受け止め、町の施策のチェック機能として機能することはもちろんですが、議会と町が、町の発展のために同じ方向を向き、引き続き山積する重要課題の解決に向けて、全力を尽くす所存でありますので、町議会への変わらぬご理解とご支援をお願いいたします。

結びに、新しい年が町民の皆さまにとって、健康で喜びと幸せに満ちた実り多き年となりますことを心からご祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

- 副議長 大釜 登
- 議会運営 楠 順一
- 委員長 我妻 耕
- まちづくり 堀 広一
- 常任委員長 宮下 裕美子
- 議員 松田 順一
- 議員 東出 善幸